

一長サ三尺三分

一横貳尺五分

一軒之出端壹尺六寸七分

一前之方内之高サ七寸壹分

一臺木之厚八步、臺木之高サ貳寸七步、

一けた行之長サ三尺壹寸五分

一棒丸太九尺貳寸、但丸棒、

一澀紙長サ代木の上端いつはい

但雨ふらざる時は、肩切にかほかくれ候ほどに仕、肩よりさげ可申候、

一後に、さん三通有、

一前後何も澀張

以上

〔守貞漫稿後集三〕山駕籠。

駕車

箱根山ニテ専用ノカゴ也、底圓形故ニ自ラ廣ク山路ヲ乗テ脚ヲ痛メ

ズ、屋根アジロ、丸桐材ノ棒、或ハ丸竹モアリ、屋根アジロ、此カゴ江戸ヨリ駿州路ノ間ニ用之、京坂

ハ元ヨリ東海道モ西ハ不用之、皆宿カゴ也、

宿駕籠。

宿音ニテシユクカゴト云、俗ニ驛ヲ宿ト云、故ニ驛路ノ駕ト云心也、自駕ヲ携ザル旅人

ハ用之、俗ニ雲助ト云、驛家ノ雇夫ヲシテ昇之シム、故ニ雲カゴトモ云、中略也、

又御用人馬賃錢帳ヲ以テ、問屋場ヨリ夫ヲ役ス、旅宿ニハ特ニ釜製ヲ用フ、是ヲ問屋カゴト云、人

夫ノ雇錢ノミニテ、カゴノ料ヲ取ラズ、若駕料二十四文バカリヲ與フレバ、聊カ精製ナルヲ用フ、

但宿カゴ板底モアレドモ、自ラ問屋カゴニ勝レリ、